

地域福祉計画・地域福祉活動計画策定のための
アンケート集計結果
(概要)

1 調査概要

(1) 目的

第4期光市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定にあたり、地域福祉に対する市民の意識や実態を把握し、計画策定にあたっての基礎資料とするため

(2) 対象者

18歳以上の光市民 2,000人
(年齢、性別、地区のバランスを考慮し無作為に抽出)

(3) 調査方法

郵送によりアンケートを配布し、返信用封筒にて回収を実施

(4) 期間

令和2年11月6日(火)～11月24日(火)
※ 郵便ポストへの投函期限は11月24日としましたが、集計作業中に提出されたものは反映しました(12月24日(木)送達分まで)

(5) 回答者数

893名(回答率44.7%)

2 回答集計

※ 構成比の%(パーセント)表記については、小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がありますのでご了承ください。

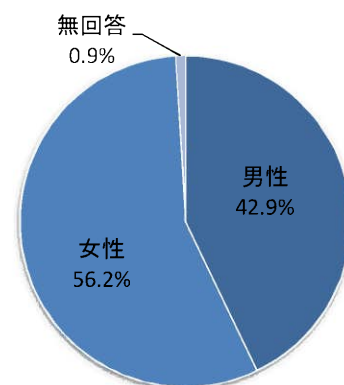
【回答者の情報】

問1 あなたの性別を教えてください。

男性が42.9%、女性が56.2%となっており、男性より女性の回答率が高くなっています。

(単一回答)

| 選択項目 | 人数 | 構成比 |
|-------|-----|--------|
| 1 男性 | 383 | 42.9% |
| 2 女性 | 502 | 56.2% |
| 3 無回答 | 8 | 0.9% |
| 合計 | 893 | 100.0% |

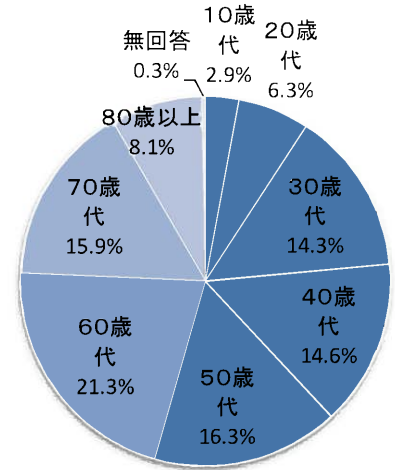


問2 あなたの年齢を教えてください。(令和2年10月末現在)

60歳代が最も多く21.3%となっており、それを頂点として年代が上がる、下がるごとに回答率が少なくなっています。

(単一回答)

| 選択項目 | 人数 | 構成比 |
|---------|-----|--------|
| 1 10歳代 | 26 | 2.9% |
| 2 20歳代 | 56 | 6.3% |
| 3 30歳代 | 128 | 14.3% |
| 4 40歳代 | 130 | 14.6% |
| 5 50歳代 | 146 | 16.3% |
| 6 60歳代 | 190 | 21.3% |
| 7 70歳代 | 142 | 15.9% |
| 8 80歳以上 | 72 | 8.1% |
| 9 無回答 | 3 | 0.3% |
| 合計 | 893 | 100.0% |

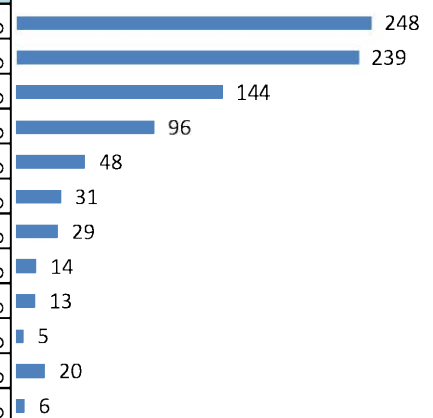


問3 あなたの職業を教えてください。

会社員が最も多く27.8%となっており、次いで無職が26.8%、パート、アルバイトが16.1%、家事従事者が10.8%の順となっています。

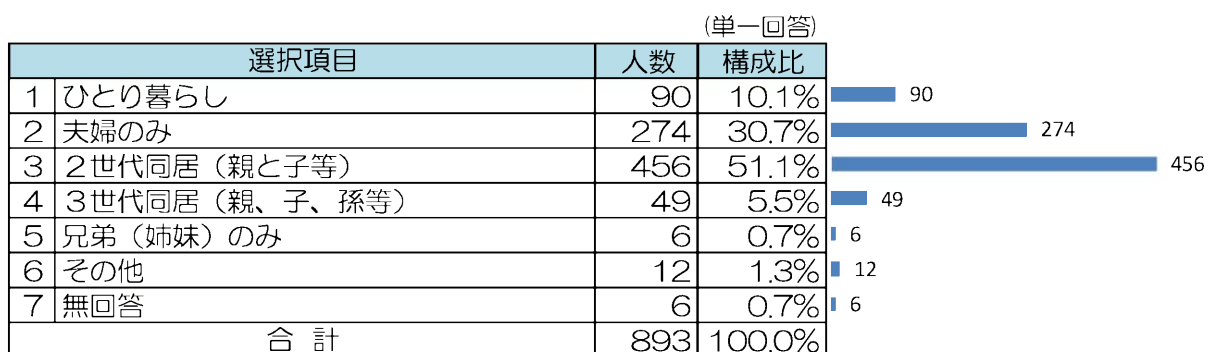
(単一回答)

| 選択項目 | 人数 | 構成比 |
|---------------------|-----|--------|
| 1 会社員 | 248 | 27.8% |
| 2 無職 | 239 | 26.8% |
| 3 パート、アルバイト | 144 | 16.1% |
| 4 家事従事者 | 96 | 10.8% |
| 5 公務員 | 48 | 5.4% |
| 6 学生 | 31 | 3.5% |
| 7 自営業(商工業) | 29 | 3.2% |
| 8 自営業(農林漁業) | 14 | 1.6% |
| 9 専門職(開業医、弁護士、文筆家等) | 13 | 1.5% |
| 10 団体職員 | 5 | 0.6% |
| 11 その他 | 20 | 2.2% |
| 12 無回答 | 6 | 0.7% |
| 合計 | 893 | 100.0% |



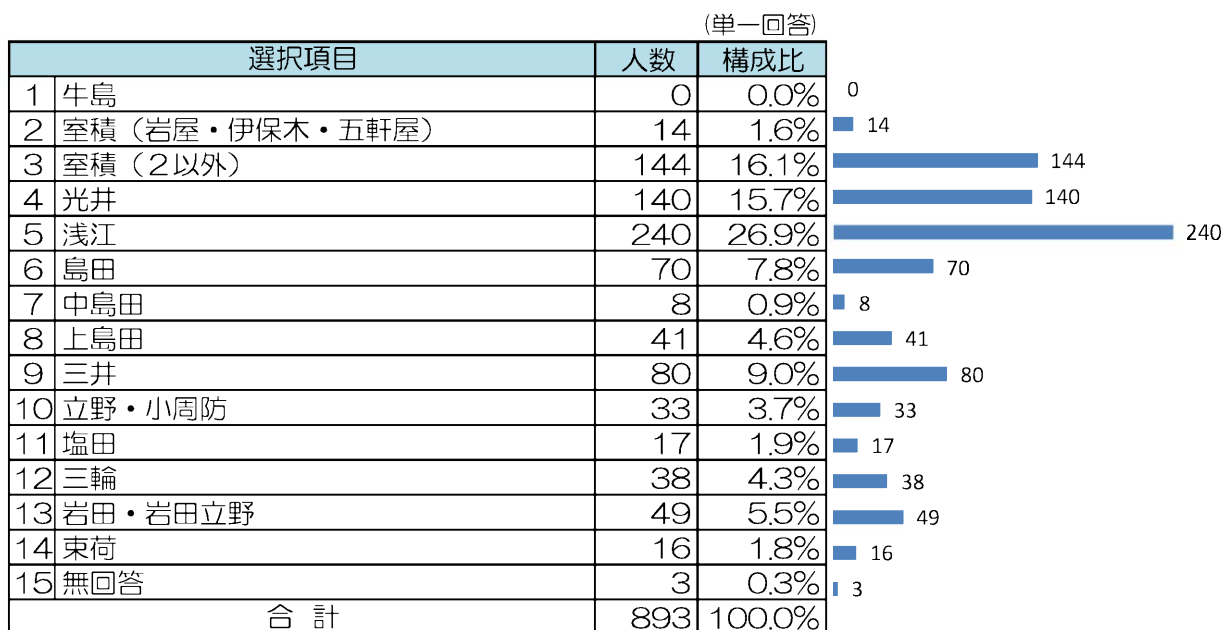
問4 あなたの世帯の構成を教えてください。

2世代同居が最も多く51.1%となっており、次いで夫婦のみの世帯が30.7%、ひとり暮らしが10.1%の順となっています。



問5 お住まいの地区を教えてください。

浅江地区が最も多く26.9%となっており、次いで室積地区(岩屋、伊保木、五軒屋以外)が16.1%、光井地区が15.7%の順となっています。



問6 光市にお住まいの期間を教えてください。

20年以上が最も多く68.1%となっています。



【ご近所のつながり】

問7 あなたは、近所の人とどの程度お付き合いをしていますか。

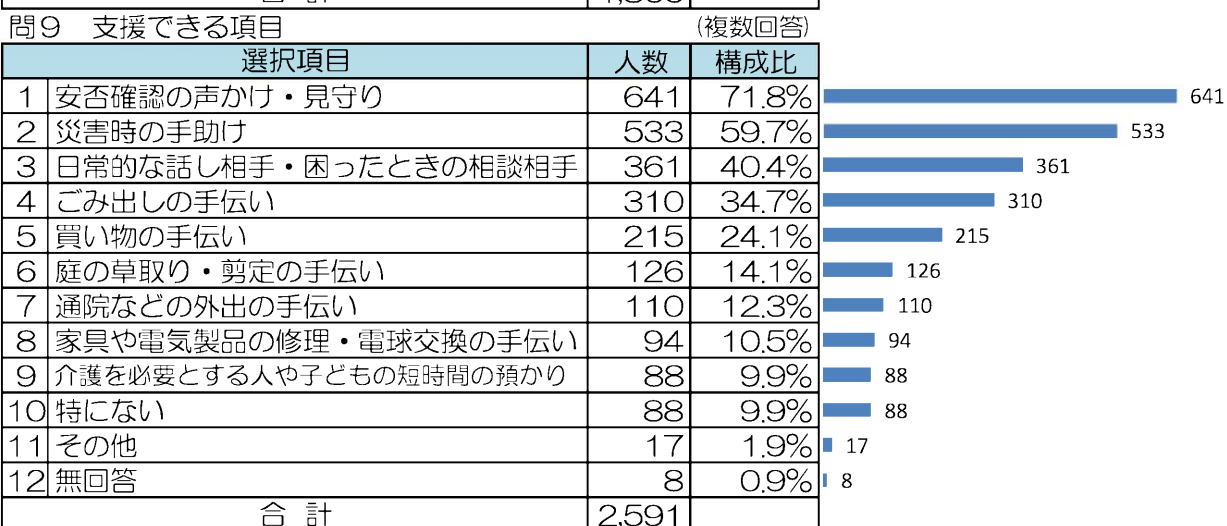
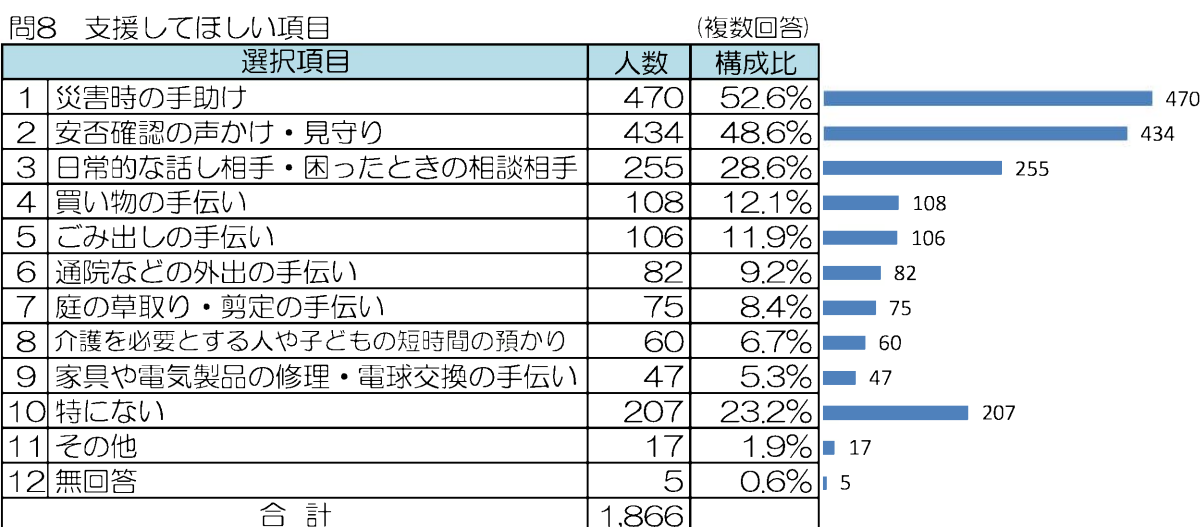
「気の合う人とは親しくしている」「日頃から親しく付き合っている」といった、近所付き合いを行っている内容での回答が合わせて43.4%となっています。



問8 あなたやご家族に手助けが必要となったとき、近所の人にどのような支援をしてほしいと思いますか。

問9 あなたのご近所で手助けが必要な家庭があったとき、どのような支援ができると思いますか。

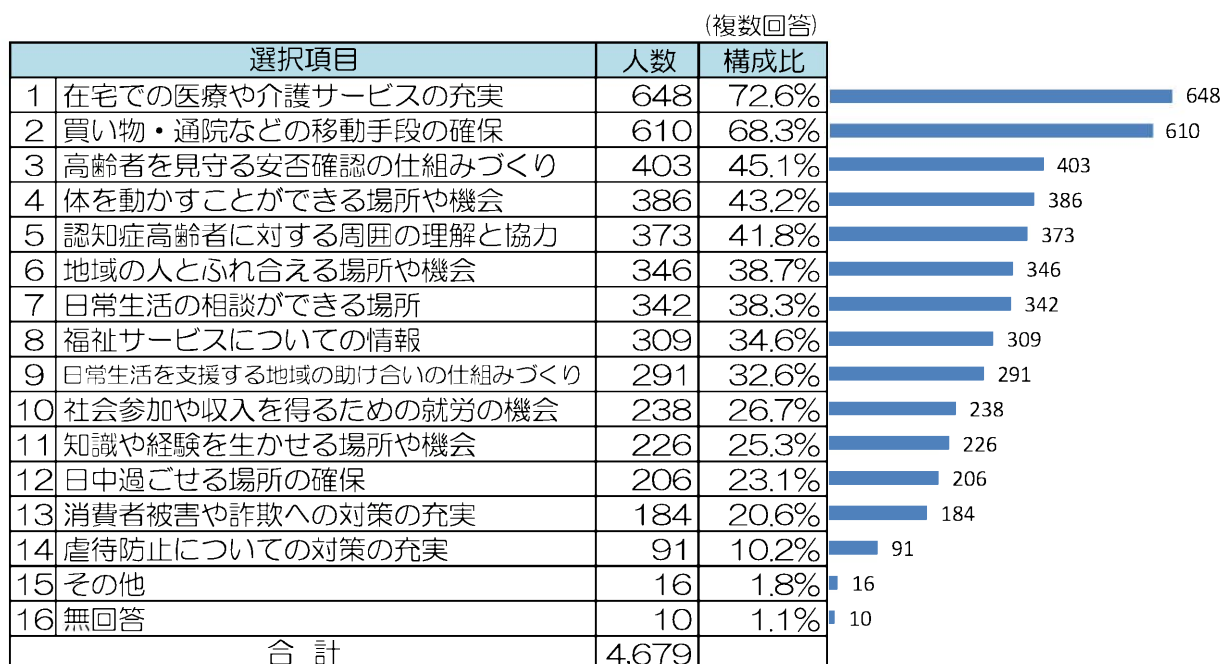
問8「近所にしてほしい支援」と問9「近所の人にできる支援」の上位はほぼ同様の項目となっています。特に、非常時の支援となる「安否確認の声かけ・見守り」「災害時の手助け」について、支援してほしい項目としておよそ5割が、支援できる項目としておよそ6割が回答しています。



【福祉に対する考え】

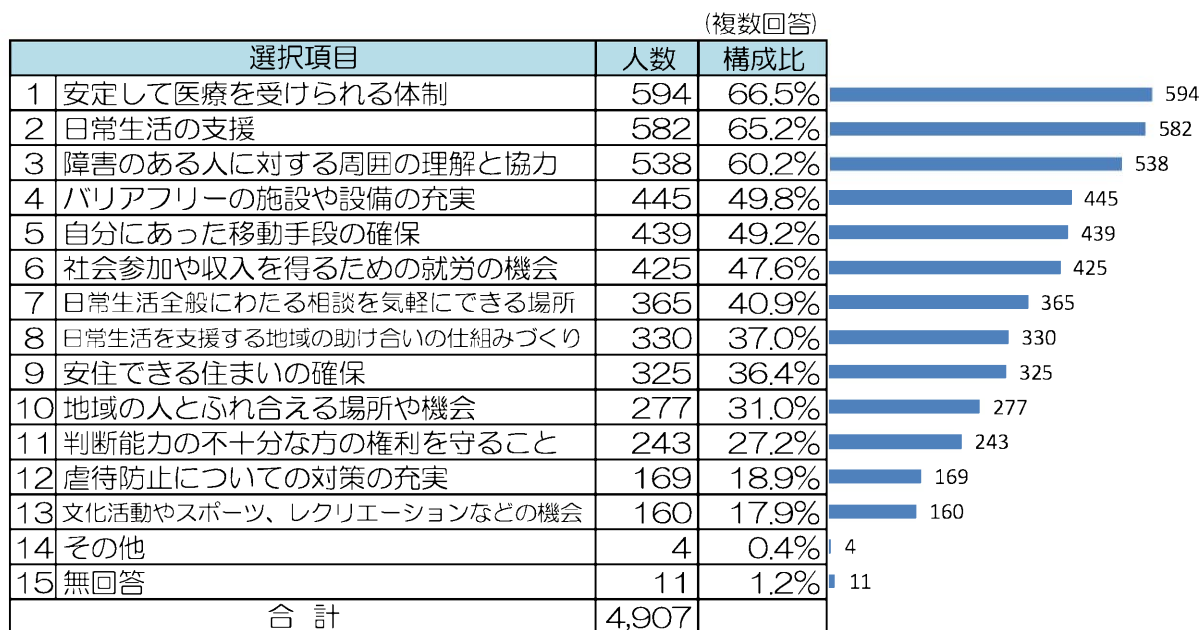
問10 高齢者が地域で暮らしていく上で重要と思うものはどれですか。

「在宅での医療や介護サービス」が72.6%、次いで「買い物・通院などの移動手段の確保」が68.3%で上位となっており、移動に関することが重要視されています。



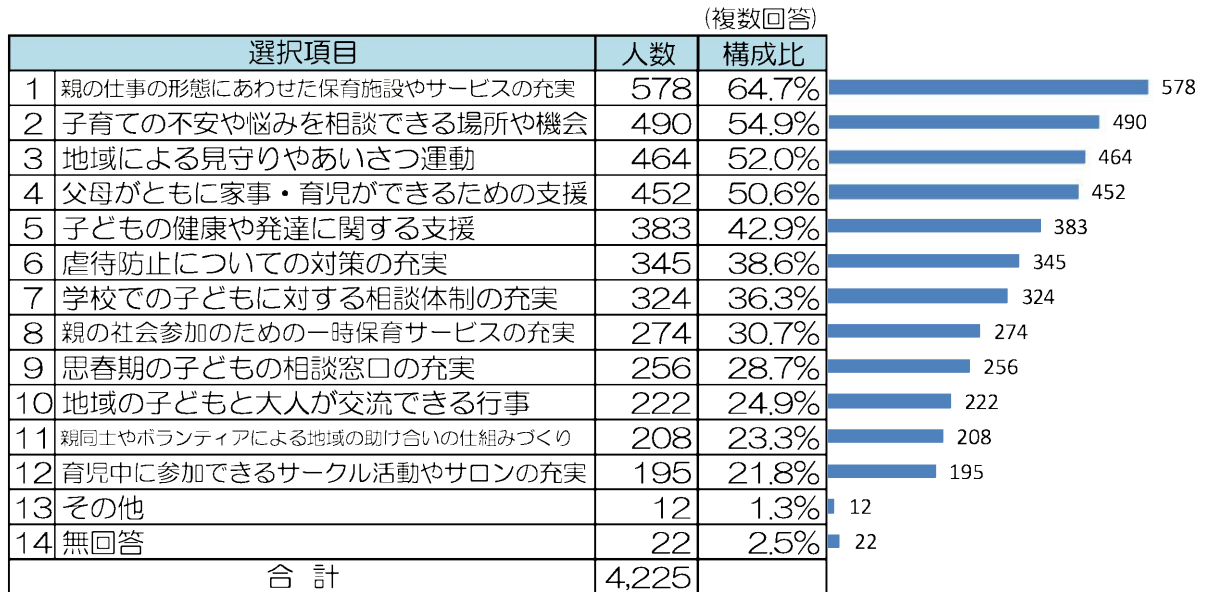
問11 障害のある人が地域で暮らしていく上で重要と思うものはどれですか。

「安定して医療を受けられる体制」が66.5%、次いで「日常生活の支援」が65.2%で上位となっており、医療体制の確保や日常生活の支援に関することが重要視されています。



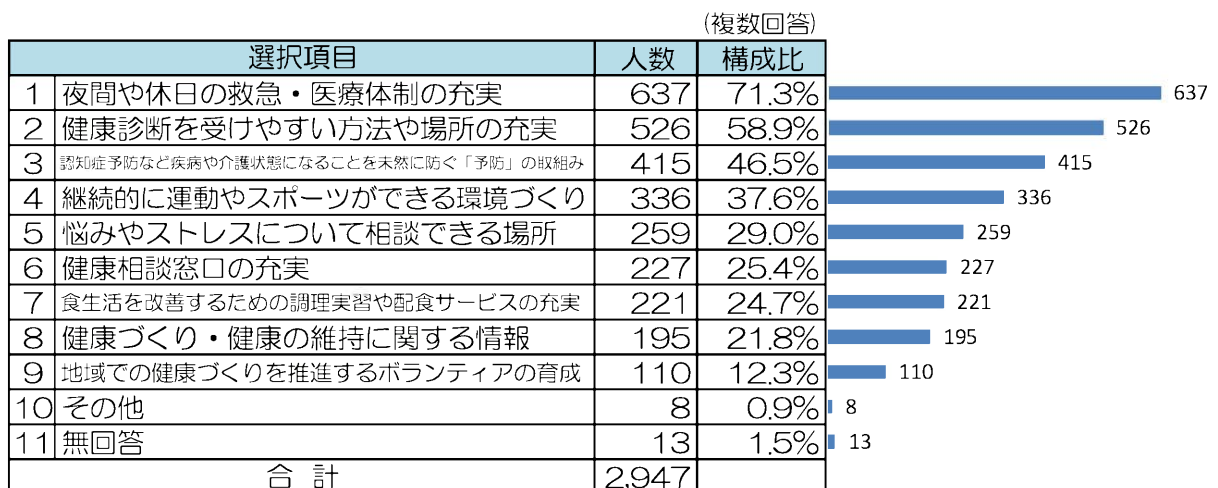
問12 子どもが地域で健全に育つために、重要と思うものはどれですか。

「親の仕事の形態にあわせた保育施設やサービスの充実」が64.7%、次いで「子育ての不安や悩みを相談できる場所や機会」が54.9%で上位となっており、仕事に合わせた保育体制や、子育て相談に関することが重要視されています。



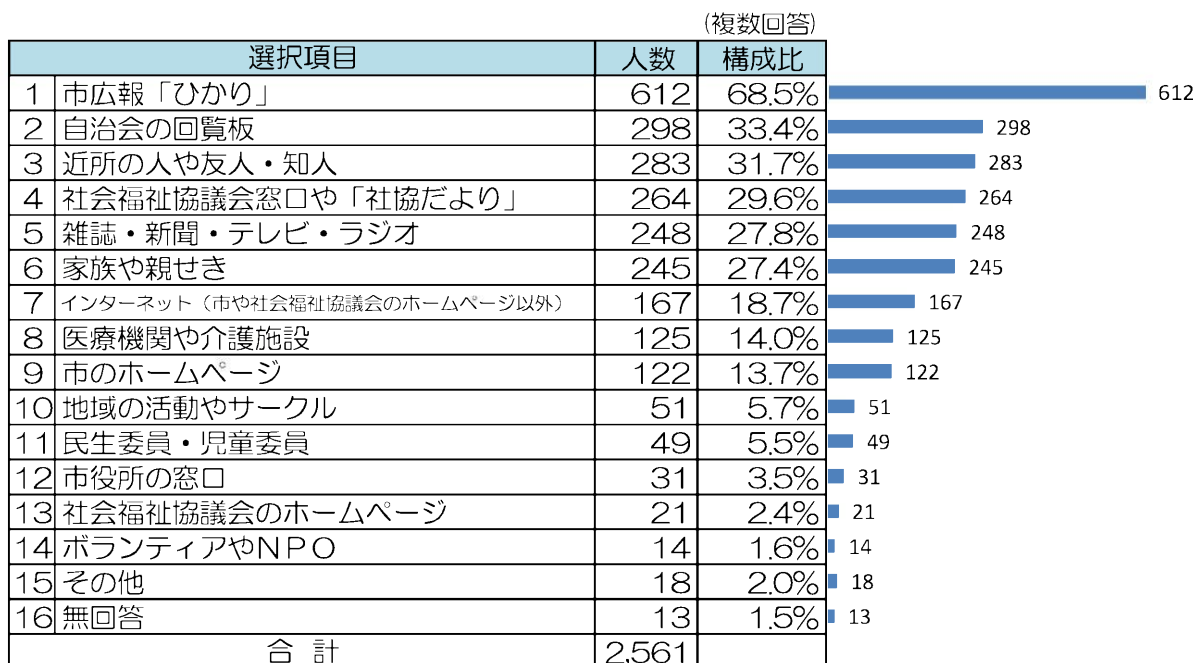
問13 健康・医療に関して、重要と思うものはどれですか。

「夜間や休日の救急・医療体制の充実」が71.3%、次いで「健康診断を受けやすい方法や場所の充実」が58.9%で上位となっており、健康診断を含めた医療体制の充実に関することが重要視されています。



問14 あなたは、福祉に関する情報をどこから入手していますか。

「市広報「ひかり」」が68.5%と特に高く、次いで「自治会の回覧板」が33.4%となっており、情報収集する媒体として紙媒体が多いようです。



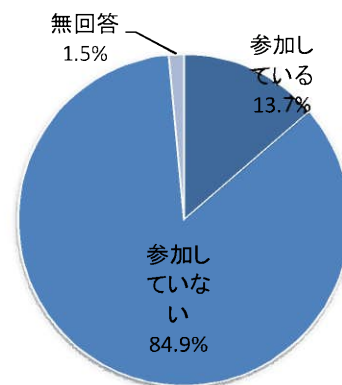
【地域における活動】

問15 あなたは、地域での助け合いやボランティア活動等に参加していますか。

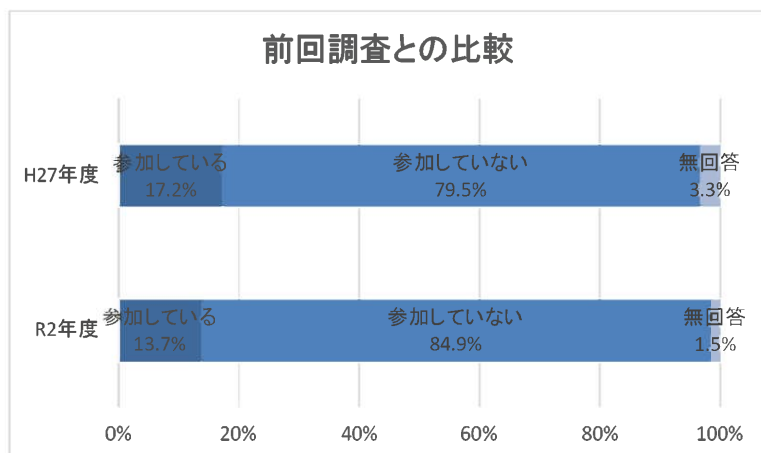
「参加している」が13.7%と、前回（H27年度）調査より3.5ポイントの減少となり、また「参加していない」が84.9%と、前回調査より5.3ポイントの増加となりました。

(単一回答)

| 選択項目 | 人数 | 構成比 |
|-----------|-----|--------|
| 1 参加している | 122 | 13.7% |
| 2 参加していない | 758 | 84.9% |
| 3 無回答 | 13 | 1.5% |
| 合計 | 893 | 100.0% |



※ 1は近いうちに参加を予定している人を含む
2は以前参加していた人を含む



(問15で「1」と回答された方)

問16 あなたは地域での助け合いやボランティア活動にどの程度参加していますか。

「日時や頻度は特に決めず、余裕のあるときに参加している(参加したい)」が最も多く42.6%、次いで「月に1~2回くらい参加している(参加できる)」が35.2%となりました。

(単一回答)

| 選択項目 | 人数 | 構成比 |
|-------------------------------------|-----|--------|
| 1 日時や頻度は特に決めず、余裕のあるときに参加している(参加したい) | 52 | 42.6% |
| 2 月に1~2回くらい参加している(参加できる) | 43 | 35.2% |
| 3 毎週特定の曜日に参加している(参加できる) | 11 | 9.0% |
| 4 ほぼ毎日、参加している(参加できる) | 2 | 1.6% |
| 5 その他 | 13 | 10.7% |
| 6 無回答 | 1 | 0.8% |
| 合計 | 122 | 100.0% |

(問15で「2」と回答された方)

問17 地域での助け合いやボランティア活動に参加したことがない(今は参加していない)のはなぜですか。

問18 どのようになれば地域での助け合いやボランティア活動に参加しても良いと思いますか。

問17「参加したことがない理由」の上位として「時間的にも精神的にも余裕がないため」が47.0%、問18「どのようになれば参加できるか」の上位として「自分自身に時間的余裕がある」が58.6%の人が回答しており、参加したことがない(今は参加していない)人でも、およそ6割の人が自身に時間的な余裕ができれば参加したいと考えています。

問17 参加したことがない理由

(複数回答)

| 選択項目 | 人数 | 構成比 |
|-------------------------------|-------|-------|
| 1 時間的にも精神的にも余裕がないため | 356 | 47.0% |
| 2 何をしたら良いのか分からないため | 262 | 34.6% |
| 3 自分の時間は自分の休養や趣味、家族のために使いたいから | 206 | 27.2% |
| 4 人付き合いが苦手なため | 178 | 23.5% |
| 5 知識や経験がなく、人の役に立てるとは思えないため | 106 | 14.0% |
| 6 責任がかかるのが負担だから | 66 | 8.7% |
| 7 活動に意義を見い出せないため | 22 | 2.9% |
| 8 その他 | 103 | 13.6% |
| 9 無回答 | 7 | 0.9% |
| 合計 | 1,306 | |

問18 どのようになれば参加できるか

(複数回答)

| 選択項目 | 人数 | 構成比 |
|-------------------------|-------|-------|
| 1 自分自身に時間的余裕がある | 444 | 58.6% |
| 2 一緒に参加する人がいる | 230 | 30.3% |
| 3 自分自身に金銭的余裕がある | 160 | 21.1% |
| 4 ボランティア活動等の紹介をしてもらえる | 103 | 13.6% |
| 5 地域での活動の拠点がある | 89 | 11.7% |
| 6 ボランティア休暇等活動等への支援制度がある | 64 | 8.4% |
| 7 職場で活動に対する理解がある | 57 | 7.5% |
| 8 家庭で活動に対する理解がある | 46 | 6.1% |
| 9 その他 | 48 | 6.3% |
| 10 参加したくない | 76 | 10.0% |
| 11 無回答 | 55 | 7.3% |
| 合計 | 1,372 | |

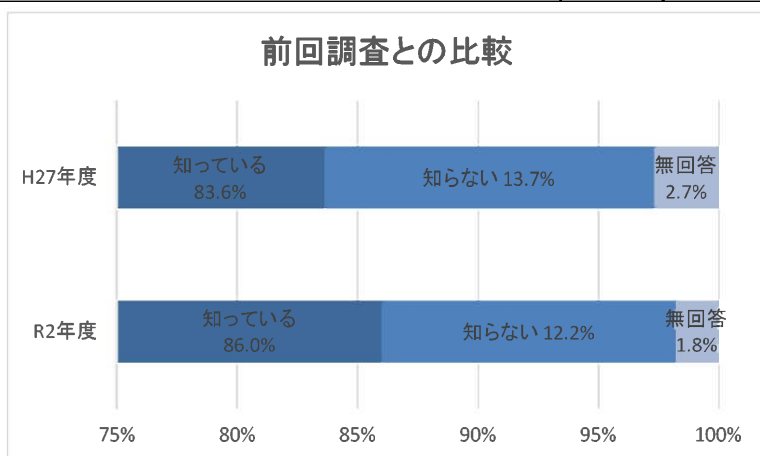
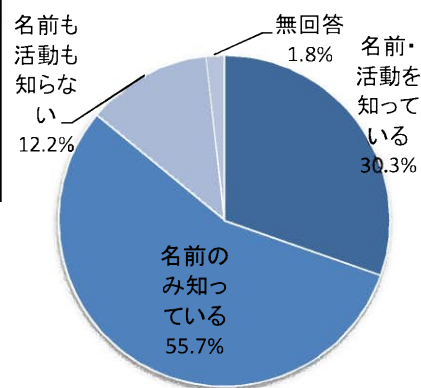
【地域福祉】

問19 地域福祉の推進を図るためにさまざまな活動を行っている「光市社会福祉協議会」をご存知ですか。

「名前・活動を知っている」30.3%と「名前のみ知っている」55.7%を合わせて86.0%となり、前回調査時の83.6%から2.4ポイントの増加となりました。

(単一回答)

| 選択項目 | 人数 | 構成比 |
|---------------|-----|--------|
| 1 名前・活動を知っている | 271 | 30.3% |
| 2 名前のみ知っている | 497 | 55.7% |
| 3 名前も活動も知らない | 109 | 12.2% |
| 4 無回答 | 16 | 1.8% |
| 合計 | 893 | 100.0% |



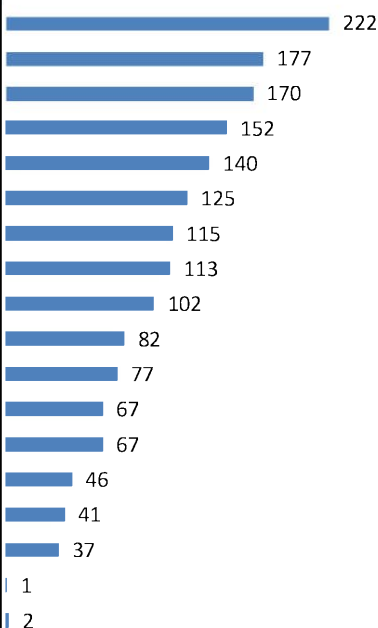
(問19で「1」を回答された方)

問20 光市社会福祉協議会のどのような活動をご存知ですか。

「社協だよりの発行」が最も多く81.9%、次いで「高齢者の見守り活動」が65.3%、「寄附の受付」が62.7%となりました。

(複数回答)

| 選択項目 | 人数 | 構成比 |
|-------------------------|-------|-------|
| 1 社協だより(年4回)の発行 | 222 | 81.9% |
| 2 高齢者の見守り活動(福祉員活動等) | 177 | 65.3% |
| 3 寄附の受付(善意銀行、共同募金等) | 170 | 62.7% |
| 4 ふれあい・いきいきサロン活動の支援 | 152 | 56.1% |
| 5 福祉用具・車両の貸出 | 140 | 51.7% |
| 6 ふれあい・健康フェスティバルの開催 | 125 | 46.1% |
| 7 ボランティア活動の支援 | 115 | 42.4% |
| 8 給食サービス(一人暮らし高齢者) | 113 | 41.7% |
| 9 チャリティー行事の開催(バザー・ゴルフ等) | 102 | 37.6% |
| 10 災害ボランティアの支援 | 82 | 30.3% |
| 11 介護関連事業 | 77 | 28.4% |
| 12 各種相談の受付(無料法律相談等) | 67 | 24.7% |
| 13 生活困窮者の支援(相談窓口・資金の貸付) | 67 | 24.7% |
| 14 地域福祉権利擁護事業(金銭管理等) | 46 | 17.0% |
| 15 法人成年後見事業 | 41 | 15.1% |
| 16 生活支援体制整備事業 | 37 | 13.7% |
| 17 その他 | 1 | 0.4% |
| 18 無回答 | 2 | 0.7% |
| 合計 | 1,736 | |

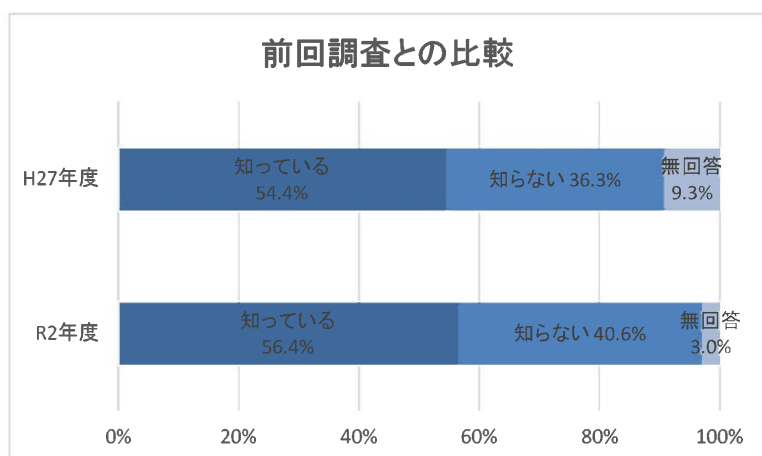
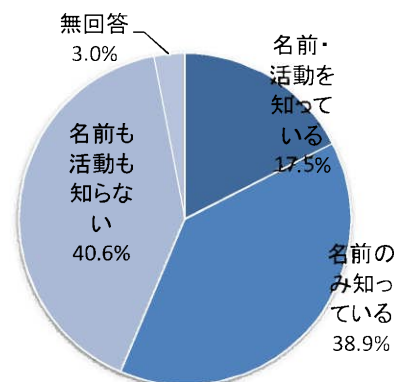


問21 市内の各地区（8地区）で地域福祉活動を行っている「地区社会福祉協議会」をご存知ですか。

「名前・活動を知っている」17.5%と「名前のみ知っている」38.9%を合わせて56.4%となり、前回調査時の54.4%から2.0ポイントの増加となりました。

(単一回答)

| 選択項目 | 人数 | 構成比 |
|---------------|-----|--------|
| 1 名前・活動を知っている | 156 | 17.5% |
| 2 名前のみ知っている | 347 | 38.9% |
| 3 名前も活動も知らない | 363 | 40.6% |
| 4 無回答 | 27 | 3.0% |
| 合計 | 893 | 100.0% |

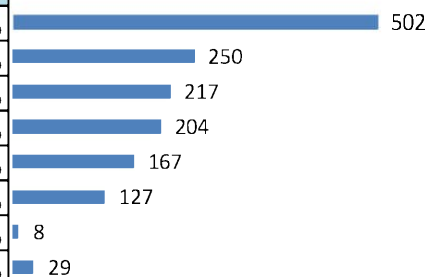


問22 地域福祉を推進するために、あなた自身の役割として重要だと思われることは何ですか。

「住民同士の助け合いの意識の向上」が最も多く56.2%、次いで「家族以外の人で、身近に困りごとなどを相談できる人を増やす」が28.0%となりました。

(複数回答)

| 選択項目 | 人数 | 構成比 |
|--------------------------------|-------|-------|
| 1 住民同士の助け合いの意識の向上 | 502 | 56.2% |
| 2 家族以外の人で、身近に困りごとなどを相談できる人を増やす | 250 | 28.0% |
| 3 情報が集まる場をつくる | 217 | 24.3% |
| 4 ボランティアや地域で活動する人を増やす | 204 | 22.8% |
| 5 住民同士が話し合う機会をつくる | 167 | 18.7% |
| 6 特になし | 127 | 14.2% |
| 7 その他 | 8 | 0.9% |
| 8 無回答 | 29 | 3.2% |
| 合計 | 1,504 | |

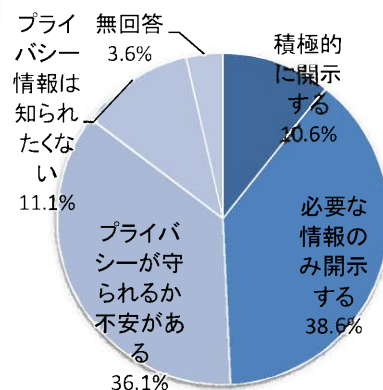


問23 地域の助け合いとプライバシーの開示について、あなたの考えに近い内容はどれですか。

プライバシー情報を「積極的に開示する」または「必要な情報のみ開示する」を合わせると49.2%となり、約半数が地域の助け合いに必要なプライバシー情報は開示しても良いと回答していますが、一方でプライバシー情報の保護に不安を感じているという回答が36.1%となりました。

(単一回答)

| 選択項目 | 人数 | 構成比 |
|------------------------------------------|-----|--------|
| 1 地域の助け合いに必要ななら、積極的にプライバシー情報を地域に開示する | 95 | 10.6% |
| 2 地域の助け合いに必要なプライバシー情報のみ地域に開示する | 345 | 38.6% |
| 3 地域の助け合いは参加したいが、プライバシーが守られるか不安がある | 322 | 36.1% |
| 4 プライバシー情報は地域に知られたくないので、地域の助け合いには参加したくない | 99 | 11.1% |
| 5 無回答 | 32 | 3.6% |
| 合計 | 893 | 100.0% |

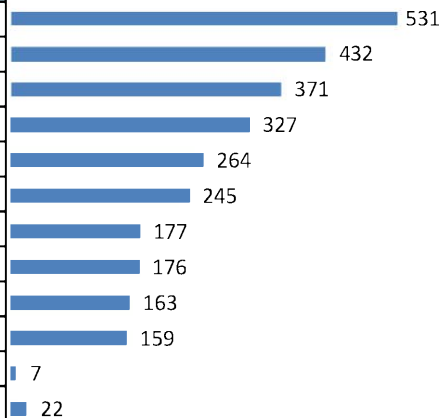


問24 地域福祉を推進するために、行政の役割として重要だと思われることは何ですか。

「福祉に関するわかりやすい情報の提供」が最も多く59.5%、次いで「地域における福祉サービスの向上を図る」が48.4%となりました。

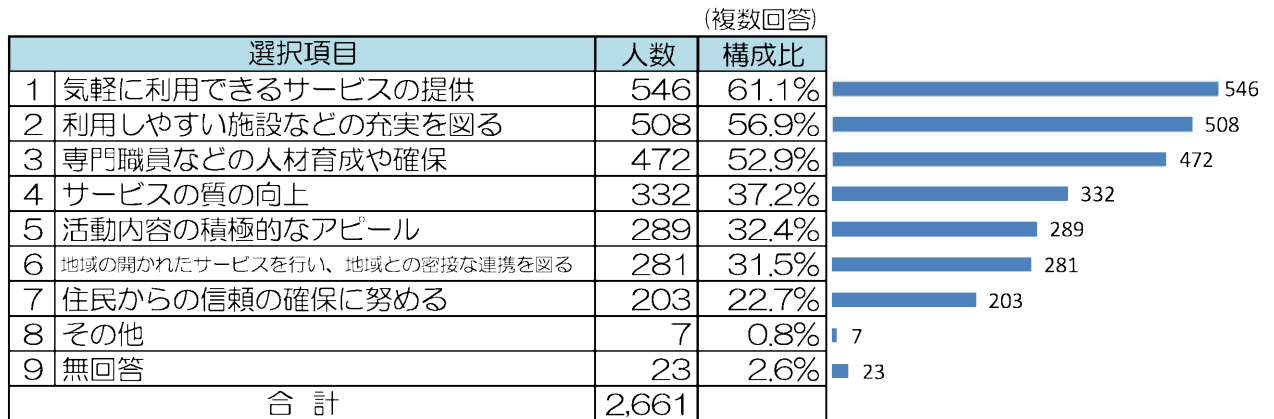
(複数回答)

| 選択項目 | 人数 | 構成比 |
|----------------------------|-------|-------|
| 1 福祉に関するわかりやすい情報の提供 | 531 | 59.5% |
| 2 地域における福祉サービスの向上を図る | 432 | 48.4% |
| 3 困っている人を早く発見し、支援できる仕組みづくり | 371 | 41.5% |
| 4 福祉活動への資金的な支援 | 327 | 36.6% |
| 5 お互いに助け合うという意識の醸成 | 264 | 29.6% |
| 6 福祉活動に携わる人の育成や支援する人を配置する | 245 | 27.4% |
| 7 個人の趣味や活動を活かせる場所の提供 | 177 | 19.8% |
| 8 地域で活躍されている人や団体等の連携づくりの支援 | 176 | 19.7% |
| 9 福祉活動の意義と重要性をもっとお知らせする | 163 | 18.3% |
| 10 地域活動などを行う拠点の確保 | 159 | 17.8% |
| 11 その他 | 7 | 0.8% |
| 12 無回答 | 22 | 2.5% |
| 合計 | 2,874 | |



問25 地域福祉を推進するために、社会福祉協議会や社会福祉施設（特別養護老人ホーム、障害者支援施設、保育所等）の役割として重要だと思われることは何ですか。

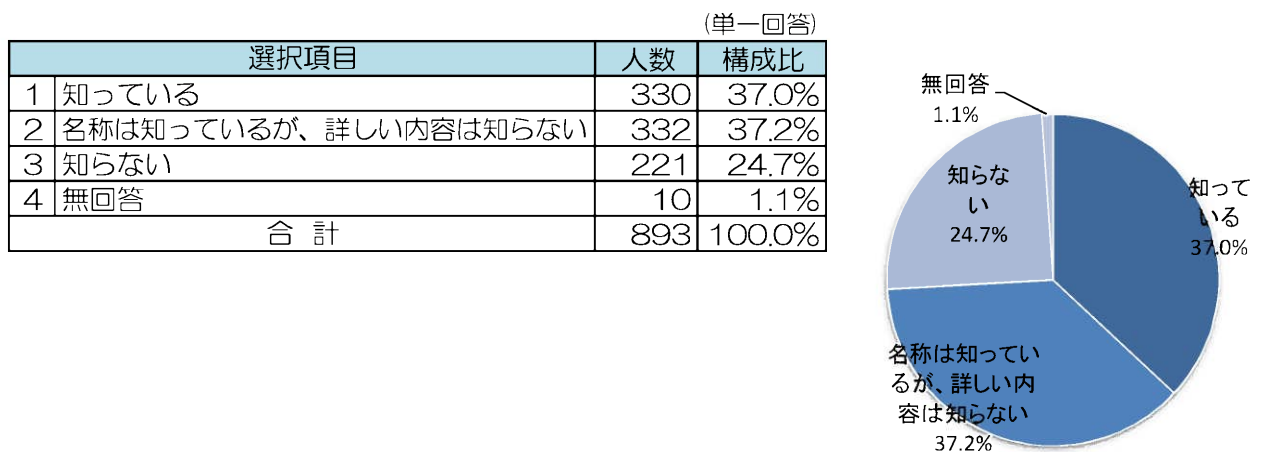
「気軽に利用できるサービスの提供」が最も多く61.1%、次いで「利用しやすい施設などの充実を図る」が56.9%となりました。



【成年後見制度】

問26 成年後見制度について知っていますか。

「知っている」37.0%と「名称は知っているが、詳しい内容は知らない」37.2%を合わせて74.2%となりました。

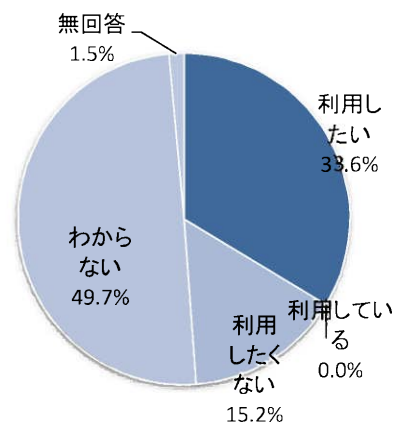


問27 自分や家族が認知症等で判断能力が不十分になったときに、成年後見制度を利用したいと思いますか。

「利用したい」が33.6%に対し、「利用したくない」が15.2%となりました。なお、今回は成年後見制度利用者からの回答はありませんでした。

(単一回答)

| 選択項目 | 人数 | 構成比 |
|-----------|-----|--------|
| 1 利用したい | 300 | 33.6% |
| 2 利用している | 0 | 0.0% |
| 3 利用したくない | 136 | 15.2% |
| 4 わからない | 444 | 49.7% |
| 5 無回答 | 13 | 1.5% |
| 合計 | 893 | 100.0% |

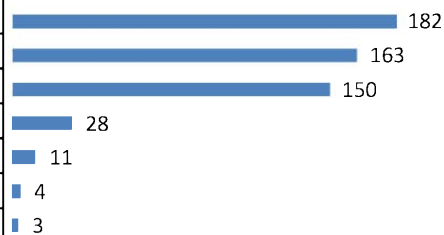


(問27で「1」または「2」を回答された方)
問28 「利用したい、利用している」理由はなぜですか。

「入所や福祉サービス契約等の手続きを行うときに必要だから」が最も多く60.7%、次いで「家族の負担が軽減されるから」が54.3%となり、サービスを利用する理由として負担軽減につながる事が重要視されています。

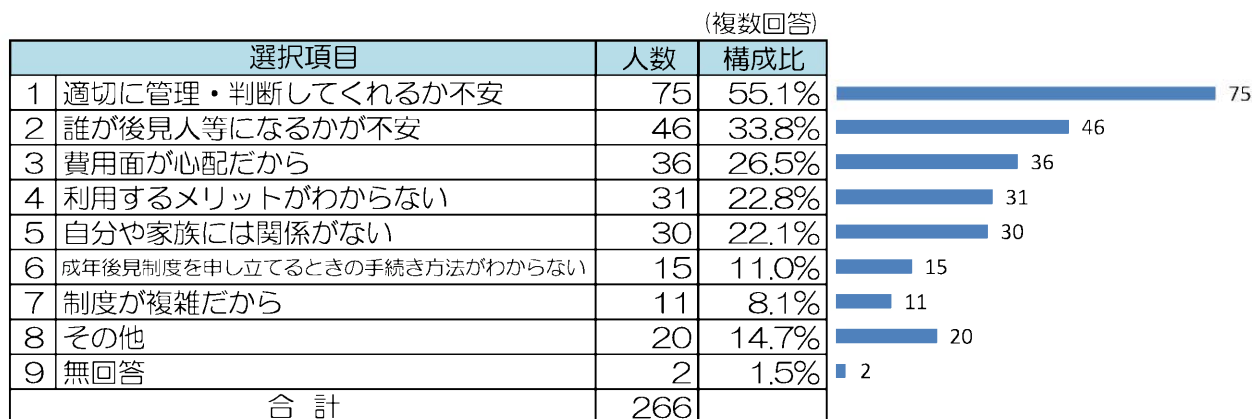
(複数回答)

| 選択項目 | 人数 | 構成比 |
|---------------------------------------|-----|-------|
| 1 入所や福祉サービス契約等の手続きを行うときに必要だから | 182 | 60.7% |
| 2 家族の負担が軽減されるから | 163 | 54.3% |
| 3 弁護士や司法書士、社会福祉士等、専門家の視点で支援を考えてもらえるから | 150 | 50.0% |
| 4 頼れる親族がないから | 28 | 9.3% |
| 5 病院や周囲の人から勧められたから | 11 | 3.7% |
| 6 その他 | 4 | 1.3% |
| 7 無回答 | 3 | 1.0% |
| 合計 | 541 | |



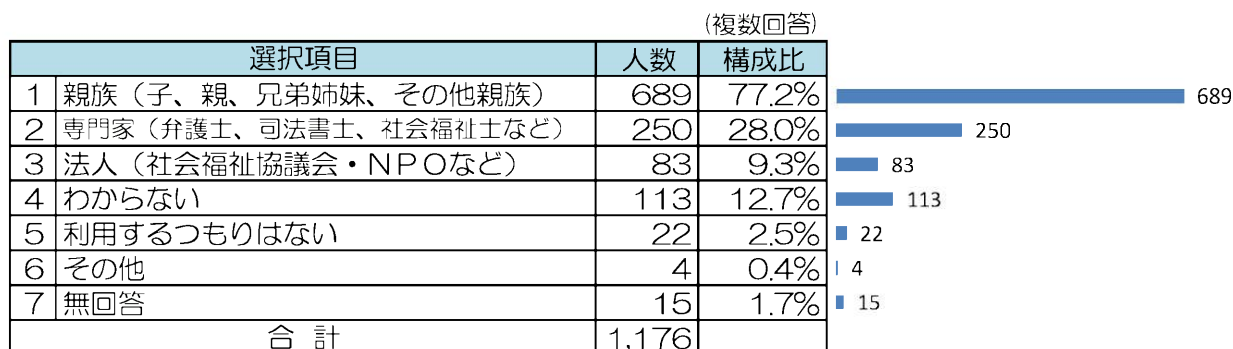
(問27で「3」を回答された方)
 問29 「利用したくない」と思った理由はなぜですか。

「適切に管理・判断してくれるか不安」が最も多く55.1%、次いで「誰が後見人等になるかが不安」が33.8%となり、サービスを利用したくない理由として、他人に任せることが不安であると考えられているようです。



問30 成年後見制度の利用が必要となったときに、あなたや家族の成年後見人等になってもらいたいのは誰ですか。

「親族」が突出して高く77.2%、次いで「専門家」が28.0%となり、サービスを利用したくない際も親族間で対応したいと考えられているようです。

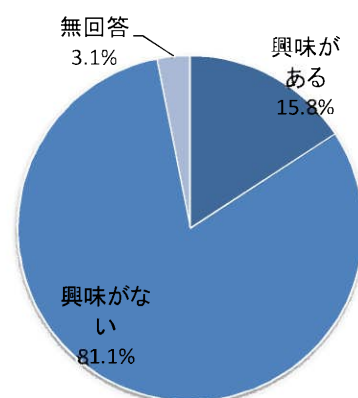


問31 仮に市民後見人として活動できることになったときに、あなたは市民後見人として活動することに興味がありますか。

「興味がある」15.8%に対し、「興味がない」が81.1%とおよそ5倍になりました。

(単一回答)

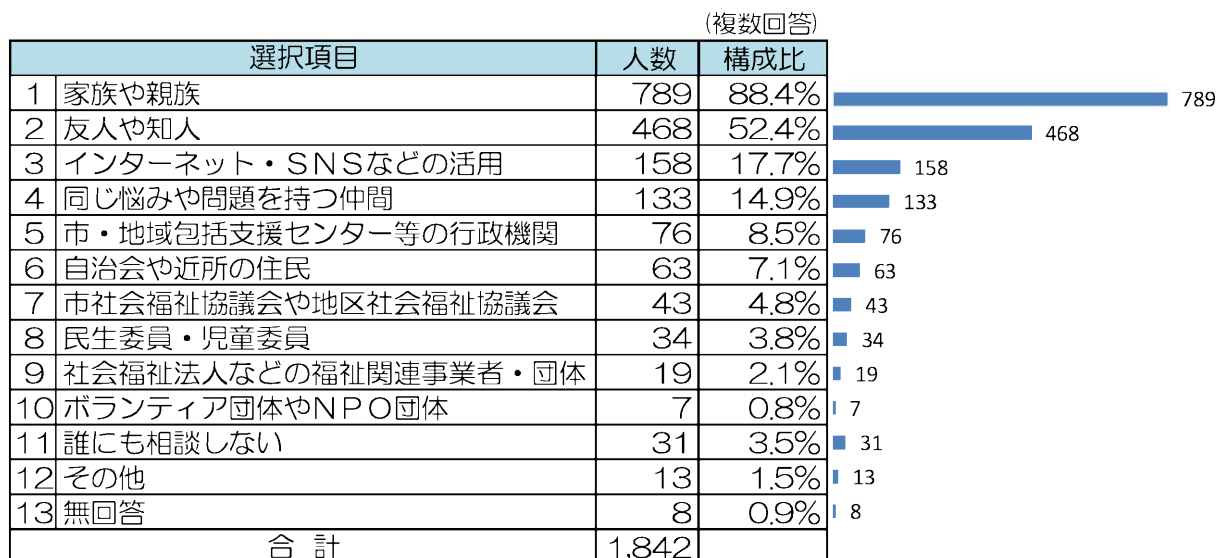
| 選択項目 | 人数 | 構成比 |
|---------|-----|--------|
| 1 興味がある | 141 | 15.8% |
| 2 興味がない | 724 | 81.1% |
| 3 無回答 | 28 | 3.1% |
| 合計 | 893 | 100.0% |



【その他】

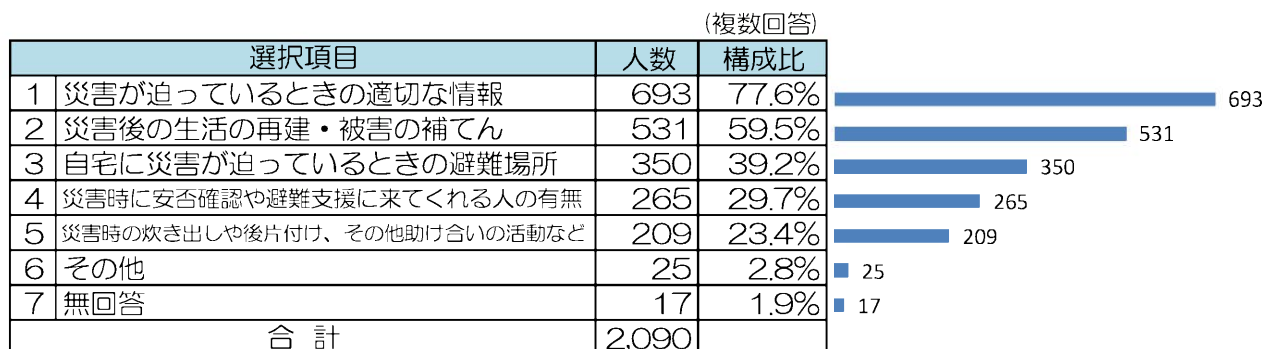
問32 あなたは生活上の問題について助言や手助けが欲しいときに誰に相談していますか。

「家族や親族」が最も多く88.4%、次いで「友人や知人」が52.4%となり、顔の見える、親しい人に相談することが多いようです。一方、行政機関や自治会、民生委員・児童委員、社会福祉協議会等に相談するという人はすべて1割未満となっています。



問33 災害時に不安に思うことはどれですか。

「災害が迫っているときの適切な情報」が最も多く77.6%、次いで「災害後の生活の再建・被害の補てん」が59.5%ととなっています。



問34 災害時に避難するとき、誰に手助けをお願いしますか。

「家族や親族」が最も多く80.9%、次いで「近所の住民」が36.6%ととなっています。一方で、「頼む人がいない」が5.3%、「手助けは要らない」が4.6%となり、約1割がが災害時も一人で非難する、せざるを得ない状況となっています。

